

陳 情	受 理 番 号	51	受 理 年 月 日	令和8年1月26日	付 託 委員会	都市建設 環 境
件 名	龍潭周辺におけるバリケン（ノバリケン）の大量繁殖による生活環境悪化及び児童の安全確保に関する陳情					

みだしの件について、別紙のとおり陳情いたしますので、よろしく願いいたします。

那覇市首里池端町に隣接する龍潭一帯において、近年、バリケン（ノバリケン。フランス鴨、タイワンアヒル、広東アヒル、麝香アヒル等とも呼ばれ、沖縄では「観音アヒル」と称されることもあります）が異常な数で繁殖しており、地域住民の生活環境及び安全に深刻な影響を及ぼしております。

具体的には、龍潭周囲の遊歩道や道路、トイレ周辺に至るまで大量の糞が散在し、悪臭の発生や衛生環境の著しい悪化を招いております。特に雨天時には糞が広範囲に広がり、路面が滑りやすくなることで、転倒事故の危険性も高まっています。

さらに深刻なのは、登下校中の小学生や、近隣の子ども園に通う幼児が、群れを成したバリケンに取り囲まれるような状況が頻発している点です。鳥が人に慣れており、距離を詰めて近寄る行動が見られることから、子どもたちが強い恐怖心を抱いております。保護者や地域住民からも、安全面への不安の声が多数寄せられております。

加えて、龍潭周辺の公衆トイレ等を利用する車椅子利用者からは、糞で汚染された路面を通行せざるを得ず、車輪に付着した糞をそのまま自宅内に持ち込むことになるとの切実な声が上がっています。これは、単なる不快感の問題にとどまらず、衛生面や感染症への不安を伴うものであり、障害のある方の生活の質や健康に直接的な影響を及ぼしかねない、看過できない問題であると考えます。

本件は、自然環境との共生という観点を踏まえつつも、児童の心身の安全、障害のある方を含む地域住民の公衆衛生、さらには観光地としての景観や評価にも影響を及ぼす、複合的かつ喫緊の課題であると認識しております。つきましては、関係法令を踏まえた上で、以下を要望いたします。

記

1. 龍潭周辺におけるバリケンの生息状況および繁殖状況の早急な調査
2. 糞害や威嚇行動等による生活環境・安全面への影響を踏まえた具体的対策の検討
3. 必要に応じて、専門機関と連携した個体数調整、捕獲・移送・駆除等を含む実効性のある措置の実施

地域住民、とりわけ子どもたちが安心して日常生活を送ることができる環境を守るため、行政としての適切かつ迅速な判断をお願い申し上げます。

以上、何卒ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。